

Along The Way



道の途中で 24

クリス・シクルス
(指導主事助手・24歳)

ありがとう

Thank you. 葛巻

葛巻に住んで2年が経ち、まもなくここを去るのかと思うと寂しくなります。葛巻はとても美しい四季が経験できる、非常に平和な所です。わたしは、それを経験することができ、幸運だったと思っています。

前回までの広報にいろいろなことを書きましたが、葛巻はわたしにとって特別な所になったということについて述べたいと思います。

まず、わたしが教えた小学校、中学校の子どもたちに感謝したいです。生徒たちはとても上手に接してくれ、わたしは教室内を歩き回り、彼らに「Hi(やあ)」と声をかけるのが大好きでした。最初のころ、わたしに会うと緊張してしまう生徒がたくさんいましたが、2年目にはそういう生徒とも友達になることができました。

わたしはいつも学校から家に帰る時やスポーツの催し、自転車に乗って

る時など校外で生徒たちに会うのが楽しみでした。それは、生徒に大きな興味や関心を持たせることになり、ここで英語を教えることがとても楽しいことになるからです。わたしは彼らがこれからの人生で体験するあらゆることに、大きな興味や関心を持って向かってほしいと思います。この2年間で、皆さんのやる気や人柄、助け合う姿、がんばる姿などに、わたしはとてもビックリさせられました。これからもいろいろな人をビックリさせてほしいし、自分自身さえもビックリするような未来をつくってほしいです。

また、2年間一緒に仕事をした葛巻の先生方にも感謝したいです。英語の先生たちがとてもいい授業の雰囲気を作ってくれたからです。熊谷先生(江刈中)や高橋先生(葛巻中)、佐々木先生(小屋瀬中)のおかげで、チームティーチングがとてもおもしろいものになりました。

わたしは教育委員会が大好きです。教育委員会の皆さんのおかげで、わたしはここでの暮らしに慣れ、葛巻の文化についてたくさん学ぶことができました。彼らはとても親切であり、彼らと仕事をすることは幸運だったと思っています。

葛巻の人たちは、わたしに対してと



さようなら
Good-bye!
お元気で
Take care

ても好奇心を持って接してくださり、わたしは彼らとさまざまなものを共有しようと心掛けてきました。そんな美しい心の人たちがいるので、葛巻はいつまでも美しい所であり続けるでしょう。

最後になりましたが、皆さま、いろいろなことで大変お世話になりました。ありがとうございました。



小山さん^④と語学学校の先生

オーストラリアで 感じた日本の良さ

小山妃奈子^{ひなこ}さん
(29歳・小田)

昨年三月から一年間、ワーキングホリデー制度を利用して、オーストラリアに滞在しました。もともと英語は好きで、海外へのあこがれもあり、「自分を試したい。何か変われるのでは」との思いから行くことにしました。出発前、クリスさんに協力してもらい、英語慣れるために何回か話をしました。現地でも二カ月間、語学学校に通いました。その後は、何種類もの農作業を手伝いながら、安い宿に泊まって各地を巡りました。最初は不安でたまらず、英語だけの生活も結構ストレスになりました。会話はあまり文法とかを気にしなくても通じるのですが、オーストラリア人の英語はなかなか聞き取れず大変でした。

外国での生活を体験し、日本人の気が利く人柄や日本食のすばらしさなど改めて日本の良さに気付きました。そして、自分にも自信が持てるようになりました。不安を乗り越えてこそ価値があると思います。これからも、常に何か目標を持ち続けたいと思っています。

国際理解のためにも語学は大切です。アンテナを伸ばし、情報を取り入れていけば、将来の夢も広がると思います。

ワーキングホリデー制度

青年の異文化体験の促進を通じ、国際理解を深めることを目的に、資金を補うための一時的な就労の機会を与える制度。協定を締結している国で12カ月まで滞在できるビザが発給される。